

第2回 鹿骨小学校・松本小学校 統合に向けた合同会議 議事録（要旨）

【日 時】 令和5年5月25日（木）18時30分～19時20分

【場 所】 鹿骨区民館 フラワーホール

【主な内容】

1 校名案の募集について

- ・新しい統合校の校名は、そこで生活する子どもたち、保護者、地域の方々が納得できる校名にしたいという第1回合同会議での意見を踏まえて、事務局より公募形式で多様な視点での案を募集することを提案。

2 校名選定スケジュール（案）について

- ・校名の決定後に、校章、校歌、学用品の検討が控えていることを踏まえて、年内秋頃を目途に校名決定を目指した場合のスケジュール案を提示。
- ・その場合、7月に公募を実施、9月に合同会議にて最終候補を選定、その後に教育委員会で選定を行う流れとなる。

3 校名の公募概要（案）について

- ・第1回合同会議での意見を踏まえて、以下事務局案を提示。
- ・応募資格は児童だけに限定せず、保護者、卒業生、学校教職員、通学区域にお住いの方を対象とする。
- ・応募条件は関係者それぞれの想いを投票してもらいたいという理由で、細かい条件は設けないこととする。
- ・応募方法は応募箱への投函、郵送、応募フォームへの入力などを検討する。
- ・応募の際には校名案だけでなく、その校名に込めた意味・想いを記載してもらう。
- ・注意点として、応募の多い名前を必ずしも校名とするものではない。

【意見交換内容】

- ・校歌について過去の事例では、フレーズを募集したと説明があったが、今回の統合においてもフレーズの募集を行うことはできるのか。また、今回の校名公募の際に、校名案と共に記載することとなる「校名への想い」を校歌のフレーズに活用することは検討できないか。名前だけでなく、その背景としての想い、言葉や文章を校歌のフレーズとして採用することも募集案に記載をしておいてはどうか。

⇒校歌検討の際にフレーズ募集することは選択肢として考えている。また、校名募集の際に、あわせて記載いただく「校名への想い」を校歌のフレーズに活かすというご提案はとても良いアイデアだと感じた。募集要項の中に組込んでいければと思う。（事務局）

- ・鹿骨という名前は残したいと強く思っている方の声が聞こえてくる。しかし、鹿骨だけでなく松本も様々な思いがあることもよくわかる。どちらにとっても納得のいく形を目指すべきであり、それには公募を行うことが良いと思う。鹿骨の地名だけでなく、自然やみどりが豊かな地域であることを踏まえて、皆が様々な思いを持って応募してくれると思う。
- ・校名決定後の予定になるが、校歌や校章、学用品などの検討が必要になる。制作に時間がかかる通学帽に関して学用品取扱店・製造元に確認したところ、発注は R6 年夏頃までに必要との要望があった。それを踏まえた今後の予定を組みつつ、最初の課題である校名の検討を進めていく必要がある。(事務局)
- ・公募することは事務局案のとおり進めて良いと思う。詳細な手続きは事務局に任せたい。
- ・松本の方は松本を、鹿骨の方は鹿骨を残したいと思う気持ちは理解できるが、自身は松本の名前を必ず残したいとは思っていない。その時に、統合校にふさわしい全く新しい校名を考えるために、今回の公募に鹿骨、松本をそのまま校名とすることを避けるような条件を加えることも選択肢なのではないかと考えていた。
- ・過去の事例と同じようにはいかないかもしれないが、今回の統合を皆が良い校名になったと思ってくれるような検討をしていきたい。この会議の参加者は様々な思いがあると思うが、子どもたちのために良い選択ができるように皆で話し合っていきたい。どちらの校名も含めない名前を検討できるのであれば、地域の魅力である自然やみどりを強調する名前はいかがか。
- ・合同会議として統合校の校名を選定する責任は非常に大きいものだと感じている。そういった中で、これから行う公募の条件を合同会議として、案を限定するような細かい条件は設定する必要はないのではないか。これから地域の歴史を子どもたちが学ぶ過程で、鹿骨、松本に対する思いに変化があるかもしれない。そのためには、まずは広く公募を行い、応募する方の様々な思いを受け止めることが必要ではないか。そのうえで、合同会議として地域の思いを汲み取りながら最終候補の選定を行う形が良いのではないか。
- ・様々な立場の方の思いを公募という形で反映していければと思う。ただし、子どもの思いを考えた時に、鹿骨、松本のどちらかになることは避けるべきと考える。公募を終えて候補を選定する過程で、あらためて皆さんと共に検討していきたい。両校にとって遺恨なく、統合を前向きに進めていけるような校名を期待したい。
- ・事務局から今回お示した、校名選定スケジュール、公募概要については、提案の通り進めていく。
(事務局)

- ・前回の合同会議で提案のあった、校名を応募する前に子どもが地域のことを学ぶ機会をつくることについては、一保護者として非常に期待している。子どもたちが自身の生まれ育った場所のことを知るということは大切なことだと思う。鹿骨、松本それぞれの想いをどう形にしていくかは、校名だけでなく校歌や校章にも取り入れることを考えていければ良いと感じた。
- ・学びの機会をつくることは良いことである。どういった方法で実施すべきか、学校と教育委員会が連携して考えていくことが望ましい。学びの場としては、校名の公募前に限ったものとするのではなく、段階を踏みながら継続していくことが大事になるのではないかと。
- ・まずは、学校を中心に校名検討スケジュール案の範囲内で学びの機会がつけられるよう実施内容をまとめていただきたい。それについて事務局にも共有いただき、良い取り組みができるよう協力して進めていく。また、校名選定の際だけでなく、校歌や校章を検討する時期など、統合するまでの間で他にも学びの機会が設けられるよう考えていければと思う。(事務局)

以上